

1 日 時；平成28年7月12日（火）15：10～16：30

2 会 場；本校視聴覚室

3 出会者；学校関係者評価委員兼学校活性化委員 6名，本校職員 15名

4 内容

- (1) 開会の言葉
- (2) 学校長あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 本年度学校経営方針
- (5) 学校概況説明（各課程）
- (6) 学校評価アンケート結果報告（通信制）
- (7) 学校活性化への取り組み
- (8) 質疑・意見交換
- (9) 閉会の言葉

5 議事

- ・ 多様な生徒を受け入れて，社会人として独り立ちできる支援をする役割を担っている。
- ・ 基礎学力の定着，丁寧で根気強い生活指導を通し基礎的生活習慣を身に付けさせ，規範意識を持たせる，「夢・実現」を支援する，今年度は全県ネットワークが構築され，HPが充実していくので広報活動を充実させ，地域に信頼され，開かれた学校づくりを推進する。
- ・ 各課程ともに，細かな指導をされ，進路状況や部活動に結果を出している。
- ・ 問題行動は最近少なくなり，小・中で不登校だった生徒の入学が増えている。開陽高校の存在はありがたい。
- ・ 専門家の先生の話もいいが，保護者との話，保護者同士の話も必要。
- ・ 親御さんに対する声かけが大切。保護者支援の必要を感じる。背負っているものが大きい。学校は守ってくれないという思いを持つこともある。集団のなかの1人だから仕方がないが・・・
- ・ 定時制のPTAでは「ここは，あくまでもスタートライン」という話をする。
- ・ 通信制での職員研修・保護者会について
 - ① 「発達障害や統合失調症等を抱えている生徒の特徴，関わり・支援について」と題して，県中央児童相談所の吉田先生，県こども総合療育センターの吉川先生の講演を実施(5/18)
 - ② 今年度はじめて不登校生の保護者を対象とした「聞き合う会」を実施，9名参加(6/1)
 - ③ 広く保護者の抱えている悩みを語り合う前期保護者会を座談会形式で実施(6/31)

- ・ 出たいが出られない，外出に抵抗感を感じ交通機関にも乗れないなど，さまざまな思いを持つ生徒にとってこういう学校があるとありがたい。
- ・ 小学校は学校現場に足を運ぶ機会が多いが，PTAは年に何回くらい開催されるのか？ 全日では総会と評議委員会，開陽祭に向けてくらい。昨年は南署から講演をしていただき50名ほどの参加。講演の後，担任との面談あり。

定時でも，進路ガイダンスや卒業生の体験発表会など学校に保護者に来てもらう機会を増やそうとしている。保護者会は年2回，今週の金曜日に実施。

- ・ 学校だけで全てするのは無理，専門機関を案内することも必要。
- ・ 開陽高校生が地域社会に出て来てもらえば，例えば地元の祭りに出るなど社会人になる前の活動をすれば「開陽ここにあり」みたいなPRになる。
- ・ 「地域に信頼され，開かれた学校づくり」ということだったが，これからは「地域に溶け込ませる」ことを念頭に，中からアピールしていきたい。そのために，河川掃除など（保護者・生徒会）の活動を通し，発信していきたい。各課程に旗があるので，それも活用していく。
- ・ 開陽・南・錦江湾の3校のPTA交流会をしようと計画している。将来的には鹿児島情報高校も入れて谷山4高校のPTA交流をしていきたい。

6 次回は2月予定